

難曲「絃歌」を演奏する盛岡二箏曲部



全国高総文祭



盛岡二箏曲部

難曲に心一つ

日本音楽部門

【佐賀県で報道部・佐藤 渉】第43回全国高校総合文化祭第2日は28日、佐賀県武雄市で日本音楽部門の最終日などを行った。同部門には本県から盛岡二、岩手女子が出場したが、入選の

上位8校には選ばれなかった。

同部門は27、28の両日に全国から54校が出演。過去6回、最高賞を受けている盛岡二箏曲部は2、3年13人で肥後一郎作曲「絃歌」を披露した。同校にとって1992年の最高賞以来の選曲。激しい独奏の旋律を全体で引き継ぎ、発展させていく難曲を奏でた。

独奏も務めた3年の岡谷 咲希部長は「やれるだけのことはやったので悔いはない」とうなずいた。指導した黒沢和雄さん(78)は「完全な演奏だった。生徒は本当によく頑張ってくれた」と

ねぎらった。

28日の県勢は、自然科学部門(佐賀市)で一関二が発表。囲碁部門(鹿島市)は最終日を行い、最終成績は団体2勝4敗、男子個人と女子個人が3勝3敗で、いずれも入賞に届かなかった。

岩手日報 令和元年7月29日(月)付
この記事・写真は、岩手日報社の
許諾を得て転載しています。